

# 地域懇談会Q&A集



町自治連絡協議会主催の平成28年度地域懇談会が11月21日から25日にかけて、地区単位の4会場で開催されました。町からは井上久男町長をはじめとする幹部職員が出向き、参加された述べ167人の町民の皆さんと直接対話しました。地域の現状やこれからのまちづくりのあり方などについて、多くのご意見やご質問、ご要望をいただきましたので、その主な内容を「質疑応答集」としてご紹介します。※秋田地区、勝山地区、境野地区の模様については、次月号でお知らせします。

## 置戸地区

●11月21日(月) ●コミュニティホールほっほ ●参加者37人

**問** 町道中里墓地線の墓地入口から数百メートルの間、枯れ枝が町道を覆い被さり強風や湿った雪が降ると折れて車両など物損、人身事故が発生する可能性があるため、古木や枯れ枝の伐採処理をお願いします。

**答** 対象となる木は民有林も含まれるため、所有者に確認したところ、枝払いであればよいとのことでした。ただし、樹高もあり電線が通っていることから直営で伐採可能な箇所から実施した。残った場合は業者委託で行っていく。

**問** 拓実地区の町道で、道路脇の木が大きくなって電線に被っている箇所が相当数見られるので、支障木や枝等の伐採をしてほしい。

**答** 電線にかかっている箇所は、北電に依頼しな

ければならないが、それ以外の直営で伐採できるような箇所については実施する。

**問** 光ケーブルの整備について、現在インターネットを利用している人や、若い世代の人達にとっても光ケーブルは必要な時代になってきました。どこに住んでいても利用が出来る様整備をよろしくお願いします。昨年も同じ要望をしておりますが何か進展はありませんか。

**答** 本年度、防災無線のデジタル化に向けた実施設計を行っているが、防災無線とインターネットの無線LANとの施設の共用については、専門家も含め検討しましたが、使用目的や電波の種類、容量などから難しいとの判断となり、現時点では、財源対策を含め、置戸町単独での整備は難しいと考えているが、平成29年度から全国の小・中・高校を対象として、無線LANの整備を進めるため、総務省の概算要求に盛り込まれた。学校でのデジタル教科書の普及と、避難所に指定されている学校が多いことから、災害時に無線LANを利用できる環境を整備するためのもの。また、観光や防災の観点からWi-Fiステーションの整備なども進んでいる。しかし、置戸町においては、光ケーブルが置戸市街地区のみで利用可能であるため、各地区の避難所へWi-Fi環境を整備する場合には、現状のADSL回線や携帯電話の電波を利用するのか、あるいは光ケーブルの延長を行うのかなど課題もあることから、今後、インターネット環境の整備もあわせて検討する。